

汎用的教育コンテンツ利用実績紹介フォーム

1.利用情報

教育機関名	日本工業大学
学部・学科名	情報工学科
コース名・講座名等	ソフトウェアデザインコース・ソフトウェア工学基礎・演習
対象学年・受講者数	2 年次 50 名 (講座等の履修登録者数を記載してください)
講座実施期間	2014年 9月 ~ 2015年 1月
利用コンテンツ名 (該当□をプルダウンで■にしてください)	<input type="checkbox"/> プロジェクト型システム開発チーム演習教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> パーソナルスキル(ロジカルシンキング)養成教育コンテンツ
	<input checked="" type="checkbox"/> ソフトウェア開発技法実践的演習教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティ実践的教育コンテンツ
	<input type="checkbox"/> 「要求工学を活用した問題発見と情報システムによる解決」実践的教育コンテンツ
コンテンツの利用形態 (該当□をプルダウンで■にし、必要事項をご記入ください)	1.利用したコンテンツ
	<input type="checkbox"/> ①シラバス
	<input checked="" type="checkbox"/> ②講義スライド
	<input type="checkbox"/> ③講義ノート
	<input type="checkbox"/> ④演習課題
	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤各種設計書
	<input type="checkbox"/> ⑥テスト問題と解答例
	<input type="checkbox"/> ⑦ティーチングガイド
	<input type="checkbox"/> ⑧受講レポート
	<input type="checkbox"/> ⑨ソースコード
2.コンテンツの利用方法について	
<input type="checkbox"/> 1.教育コンテンツ全てをそのまま利用	
<input checked="" type="checkbox"/> 2.教育コンテンツの一部をそのまま利用	
(利用範囲) 講義スライドの一部, 各種設計書の一部を利用	
<input type="checkbox"/> 3.教育コンテンツを改変して利用	
(改変範囲)	

講座の全体構成(シラバス) ※単元ごとの学習項目、講義形態、コンテンツ利用の有無を記す			
	単元と時間配分(1コマ= 90 分で実施)	プルダウンで該当項目を選択してください	
	*短期集中講座の場合は、日単位で結構です	講義形態 (座学、個人演習、チーム演習)	単元ごとのコンテンツ利用の有無
1	ソフトウェア工学の目的と開発プロセス	座学	無
2	構造化手法概論	座学	有
3	構造化分析手法	個人演習	有
4	構造化設計手法	個人演習	有
5	構造化プログラミング	個人演習	有
6	状態遷移図等による動作分析設計	個人演習	無
7	中間テスト	座学	無
8	オブジェクト指向プログラミング概論	個人演習	無
9	オブジェクト指向分析設計概論	個人演習	無
10	UML(Unified Modeling Language)	個人演習	無
11	デザインパターン	個人演習	無
12	オブジェクト指向分析手法	個人演習	無
13	オブジェクト指向設計手法	個人演習	無
14	テスト技法概論	個人演習	無
15	テストケース設計	個人演習	無
特記事項			

コンテンツ利用の狙い・目的	本コンテンツのシステム例題、設計書例を演習課題に利用することを目的に導入した。本コンテンツをまとめた設計書の見本として読んでもらい、ソフトウェア開発に係る設計書のイメージをつかんでもらうことが狙いである。
講座の位置づけ	コース必修科目, C言語を知っていることが前提. Javaも知っていることが望ましい.
学生の履修前提条件	
授業の進め方	1日2コマ, 前半1コマが座学, 後半1コマが演習が基本. 汎用教材の利用は2割, 自作教材8割程度

2. 講座実施後の情報

教員の評価	構造化設計, 分析の箇所を主に利用. 実務に近い設計書が良い.
今後の展望 (継続に向けた課題)	今後も同様に使っていく予定.